

「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」開催要項

1. 目的 1) 外来看護職が講義及び演習によって、地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。
2) 習得した知識をもとに、外来看護職として在宅療養支援を実施することができる。
2. 目標 1) 講義を通じて、外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる。
2) 所属施設の医療機能や地域の実情等から、地域で切れ目のない在宅療養支援を行う上での自施設が担うべき役割を理解することができる。
3) 1) 及び 2) を踏まえて、演習によって在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化に繋げることができる。
3. 受講対象者 病院・診療所等の外来に勤務している、または勤務予定のある看護職
(常勤や非常勤等の雇用形態、また短時間勤務等の勤務形態は問わない。救急外来勤務者も含む)
4. 定 員 50 名
5. プログラム ※別紙プログラム参照
本研修は、①講義(e-ラーニングの視聴) ②事前課題 ③演習で構成されています。

講 義 【e-ラーニング】	* 視聴期間：令和 7 年 9 月 1 日(月)～令和 7 年 10 月 25 日(土) 期間内に個別に受講
事 前 課 題	* 講義をすべて受講後に、下記について各自がまとめて提出する ① 地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について ② 外来における療養支援について自身が感じている課題 * 書式 Web システムよりダウンロードした記入用紙に記載する (A 4 用紙 1～2 枚にまとめること) * 提出期限：令和 7 年 10 月 31 日(金)12 時必着 * 提出方法：メールまたは郵送 kyokango@kyokango.or.jp メール件名「外来看護職員研修事前課題」 <u>一部をコピーして演習当日必ず持参して下さい</u>
演 習	* 日時：令和 7 年 11 月 15 日(土)13：30～16：00 * 会場：京都府看護協会研修センター3 階大研修室 (京都市左京区高野泉町 40-5) * 演習の受講は、e-ラーニングが全て完了した者に限られる。

	演習当日 <u>e-ラーニング受講証明書</u> (システムから発行される)を必ず提出すること。 ◎遅刻、早退はできない。全時間数の出席が必要
--	--

6. 受講料 会員 4,950 円 非会員 12,375 円

7. 申込方法 *京都府看護協会ホームページ Web システムより申し込むとともに、e-ラーニング受講システムに登録するため、個人のメールアドレスが別途必要となりますので、下記 QR コード (URL) から申し込んでください。

*申込期間 令和7年8月1日(金)～8月14日(木)

<https://forms.gle/xHeEKGbnsz2Jop686>



8. 修了証 遅刻・早退なく出席し、講義、事前課題、演習全ての過程を修了された方に修了証を発行します。

※本研修プログラムは、在宅療養指導料の「在宅療養支援能力向上のための適切な研修」の要件に「修了していることが望ましい」と定められている必要な研修に該当します。

問い合わせ先

公益社団法人京都府看護協会研修センター

〒606-8111 京都市左京区高野泉町 40-5

担当：常任理事 乾 啓子

Mail inui@kyokango.or.jp

TEL 075-723-7195